

ハレクル With データ連携仕様書

v1.0.0

2025年2月7日

オムロン株式会社 データソリューション事業本部 自立支援事業部

目次

1. データ連携仕様の概要	3
1.1. 本仕様書の位置づけ	3
1.2. ハレクル With とは.....	3
1.3. 業務の全体像	3
2. データ連携インターフェイス仕様について	5
2.1. 概要	5
2.2. ファイル一覧	5
2.3. インターフェイスファイルの入出力単位について	5
2.4. 運用における注意事項.....	6
3. データ項目仕様について	6
3.1. 項目一覧.....	6
3.2. ファイル形式（区切文字）	6
3.3. ファイルエンコード	6
4. データ連携にあたっての安全管理について	7
5. 本仕様の適合性について	7

6. 著作権および利用について..... 7

1. データ連携仕様の概要

1.1. 本仕様書の位置づけ

本書は、ICT を活用した効果的・効率的な介護予防ケアマネジメントの推進（2024 年度デジタル田園都市構想 Type S）において、給付管理・請求機能との連携を企画・推進する中で作成したデータ連携仕様書である。

本仕様書では、高齢者（以下、利用者）の自立支援を目的とした介護予防ケアマネジメントを支援する「ハレクル With」と、地域包括支援センター等が従来から使用している介護用ソフトウェア（以下、従来システム）とのシステム間データ連携仕様を記述する。

なお、本仕様は厚生労働省老健局管轄の“ケアプランデータ連携標準仕様（厚労省老健局 Vol.1287「ケアプランデータ連携標準仕様」について）”を基準として作成したものである。

1.2. ハレクル With とは

「ハレクル With」は、日本初の介護予防領域に特化した ICT 支援ツールであり、介護予防ケアマネジメントの質向上と業務効率化の両立を目的に開発されたシステムである。本システムは、地域包括支援センター等のケアマネジメント業務を支援し、特に利用者の自立支援と介護予防において重要なアセスメント機能およびプラン（支援計画書）作成機能を提供する。

1.3. 業務の全体像

前提として、ケアプランデータ連携標準仕様のベンダテスト完了済みの従来システムで利用者情報の管理・登録し、アセスメント情報取得・プラン作成をハレクル With で行う業務フローを記載する。

【総合相談プロセス（利用者情報登録/更新）】

ユーザーが総合相談等で利用者情報を入力し、従来システムにデータ登録/更新を行う。

【アセスメントプロセス】

ユーザーが従来システムからデータ連携ファイル(.csv)を出力。
出力したデータ連携ファイルをハレクル With へファイル入力。

ハレクル With で利用者基本情報が反映することができる。

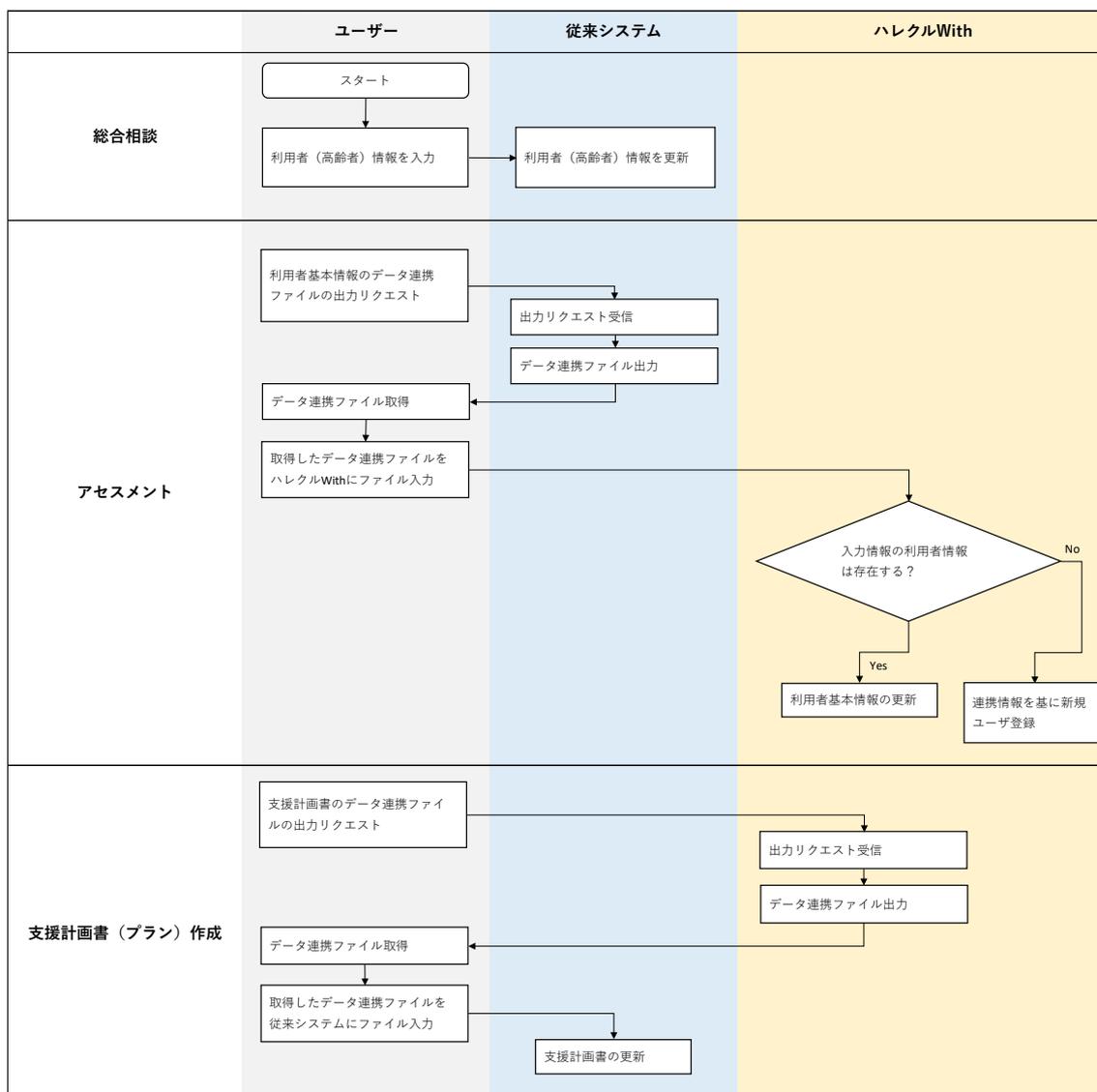
【プラン作成プロセス】

アセスメントプロセスにおいて連携した利用者基本情報およびアセスメント情報元にユーザーがプランを作成。

ハレクル With からデータ連携ファイルを出力。

出力したデータ連携ファイルを従来システムへファイル入力。

<フロー図>



2. データ連携インターフェイス仕様について

2.1. 概要

地域包括支援センターの従来システムとハレクル With 間のデータ連携は、ケアプランデータ連携標準仕様をベースとしたファイルインターフェイスを用いる。当仕様書の冒頭に記載した通り、厚労省老健局 Vol.1287「ケアプランデータ連携標準仕様」に基準として作成したものであるが、主に介護予防支援等に係るデータ交換規約インターフェイス標準仕様に基づいた仕様となっている。

一方で、ケアプランデータ連携標準仕様では定義されていない新規仕様として基本チェックリストを追加している。

2.2. ファイル一覧

インターフェイスファイルおよびファイル入出力機能対応表は、下記のとおりである。
<入出力対応図>

○：対応可能 □：新規追加仕様

ファイル名	従来システム※		ハレクルWith	
	出力	取込	出力	取込
利用者基本情報	○	○		○
基本チェックリスト	□			○
介護予防サービス・支援計画書	○	○	○	

※従来システムは、ケアプランデータ連携システムのベンダテスト完了済みのもの

なお、ケアプランデータ連携標準仕様にて定められている下記インターフェイスファイルは非対応である。

- 1) 「利用者基本情報_削除」
- 2) 「介護予防サービス・支援計画書_削除」
- 3) 「サービス利用票」「サービス利用票別表」「利用者補足情報」
- 4) 「サービス利用票_削除」
- 5) 「実績情報」
- 6) 「実績情報_削除」

2.3. インターフェイスファイルの入出力単位について

従来システムよりハレクル With へ利用者基本情報を入出力する場合、下記組み合わせを入出力単位とする。

1. 「利用者基本情報」

2. 「利用者基本情報（別表 1） 1日の生活・過ごし方(タイムスケジュール)」
3. 「利用者基本情報（別表 2） 現病歴・既往歴」

従来システムよりハレクル With へ基本チェックリストを入出力する場合、下記組み合わせを入出力単位とする。

1. 「基本チェックリスト」

ハレクル With より従来システムへ介護予防サービス・支援計画書を入出力する場合、下記組み合わせを入出力単位とする。

1. 「介護予防サービス・支援計画書」
2. 「介護予防サービス・支援計画書 （別表） 支援計画」

2.4. 運用における注意事項

本仕様のスコープは、従来システムとハレクル With 間のシステムデータ連携である。そのため、現時点では介護事業所への転送などケアプランデータ連携システムを通じた送受信等は想定しない。

3. データ項目仕様について

3.1. 項目一覧

各インターフェイスファイルにおけるデータ項目の一覧およびファイル名規約は、別紙「CSV ファイルレイアウト定義書」を参照すること。

3.2. ファイル形式（区切文字）

CSV(,)とする。

3.3. ファイルエンコード

Shift-JIS (MS932) とし、出力される CSV ファイルには、Shift-JIS (MS932) の範囲外の文字は含まないものとする。外字の利用は不可とし、外字や Shift-JIS (MS932) の文字セット外の文字が含まれる場合は Shift-JIS (MS932) の範囲内で有効な文字に変換すること。

4. データ連携にあたっての安全管理について

本仕様に準じて出力される CSV ファイルにより行われるデータ連携のセキュリティに関する要件は、最新版の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準ずる。

5. 本仕様の適合性について

本仕様は、ケアプランデータ連携標準仕様に基づいている。そのため、本仕様における適合性は、国民健康保険中央会が実施する「ケアプランデータ連携システムベンダ試験」において適合性が認められたものに限る。

基本チェックリストの連携仕様に関しては、ケアプランデータ連携標準仕様およびベンダテストの範囲外とする。

6. 著作権および利用について

下記ライセンスのもと、ご利用ください。

ハレクル With データ連携仕様書 by OMRON Corp. is licensed under [CC BY 4.0](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>